

2023年(令和5年)6月29日(木) NO 183号

## K-PURO NEWS

### 【事業所】

◆	商号	株式会社 ケイブロ	<a href="https://k-puro.co.jp">https://k-puro.co.jp</a>
◆	屋号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

### 【業務内容】



機械警備 弊社のセキュリティプランに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用



防犯カメラ 周辺環境・建物構造・人的要因を分析し、用途に沿ったカメラ選別と設置  
メンテナンス 消防設備点検・消防設備工事の消防関連事業および AED 斡旋の管理業務

### 【加盟団体】



RID2770 川口モーニングロータリークラブ <https://kawaguchi-morning.jp/>



NPO 法人 さいたま起業家協議会 <https://saitama-kk.org/>



公益社団法人 千葉東法人会 <https://www.chibahojin.jp/>



公益財団法人 モラロジー道徳教育財団 <https://www.morology.jp/>

### 【応援団体企業】



我が国一の歴史と実績 since 1957  
公益財団法人 アイメイト協会



株式会社モリーフ

今月の言葉

人を喜ばせる楽しみ



私たちが喜びや楽しみを感じるためには、必ずしも「特別な場所で特別なことをしなければならない」というわけではありません。むしろ身近な暮らしの中にこそ、喜ぶべきことや楽しめるものが数多くあるのではないのでしょうか。

日常の喜びや楽しみを見いだすポイントの一つは、自分のことだけにとらわれるのではなく、他人を楽しませ、喜ばせるところにあるようです。

普段の生活の中で、今より少しでも周囲を思いやった行動を取ることで相手に喜ばれたとき、自分自身も大きな充実感を味わうことができるのです。

## 今月の良い話

## 三ツ星を取れる人と取れない人の差

三ツ星を取れる人とそうでない人の差は、皆が頂点を目指して頑張っている中で、細部にまでとことんこだわられるかが分かれ目だと思います。

よくスタッフが

「ちょっと火を通し過ぎたと思うんですが、どうですか？」

って聞きに来るんですけど、味見をすると全然ちょっとじゃないんです。

病院の先生でも、体温がたった 0.02 度上がっただけでおおごとだと捉える方がいますが、そうした微差を追求できる人が特出できるのだと思います。

料理の世界ではその差が品質管理にもものすごく影響します。

よく器用なほうがいいですか？

という質問を受けますが、

器用であったほうがいいですけど、

それ以上に日々の努力を積み重ねられる人のほうが成長します。

そのためには小さなミスにも真摯に向き合う姿勢が大事ですね。

私は一流プロの条件は二つあるとされていて、

一つは高品質な仕事をする事。

そしてもう一つはそれを継続して行くことです。

2012 年に先ほどお伝えした改革を実行した後、

二ツ星に落ちたのは、ミシュランのスタッフが私たちの料理のレベルや安定感を探っていたのだと思います。

再び三ツ星をいただけるまでに 5 年もかかりました。



坂村真民さんの詩に「本気 本腰 本物」とありますが、

本気とは、自分で勝手に決めてしまっている限界を超えることだと思います。

車のリミッターと同じで、本当は 300 キロ出せるエンジンがついているのに、180 キロまでしか出せない設定にしている。

そのリミッターをカットし、真の力を出すには本気になって打ち込むのみです。

本腰とはすべての責任を背負う覚悟。

いつも逃げ腰で、人のせいにするような中途半端な人間は成長できません。

そして本物とは、ぶれない中心軸を持つこと。

時代や流行はどんどん変わりますが、本筋って意外と変わってなくて、

それに気づける人が本物でしょう。

////////////////////////////////////

米田 肇 (HAJIME オーナーシェフ)

記事提供 致知出版社

今月の良い話

請求書の人生と領収書の人生

“もっと、もっと、もっと”

際限なく求めて欲しがって生きるのは、

「請求書の人生」

であると、知人の有吉説志様から教えていただきました。

有吉様は、幼い頃お祖母さんから、

寺社にお参りした時は

「ありがとうございます」

と請求書ではなしに領収書のお参りをしなさい、と教えられたそうです。



向上心や探求心は人の成長に欠かせない大切な条件ではありますが、度の過ぎた欲求は人を卑しくし、ひいては国家の尊厳を傷つけることにも繋がります。

有吉様のお話を通じて、求めるばかりではなく、いま与えられているものごとに感謝の心を持つ

「領収書の人生」

を歩めと教えていただきました。

日本には領収書の生き方をしている方が大勢おられますが、そういう方は世間から注目されることはありません。

請求書の生き方をする人が派手で目立つのに比べて、領収書の生き方をする人は地味で

人目につかないところが共通しているからです。

誰からも注目されず、光の当たらないところで、

いつ報われるか分からないことにも

心を込めて取り組んでおられるそのお姿からは、

卑しさは微塵も感じられません。

他人に頼ったり、求めたりすることなく、

人の役に立つことだけを念頭において、

一途に歩み続けるお姿は、人を惹き付ける豊かな魅力を備えています。

このような方々は、お互いに住む世界は異なっても、

一度会っただけで朴訥なお人柄に惹かれ、年来の知己のようになります。

語り合ううちに、この方の成功を祈り、

ささやかであってもお手伝いをしたいという思いが湧いてきます。

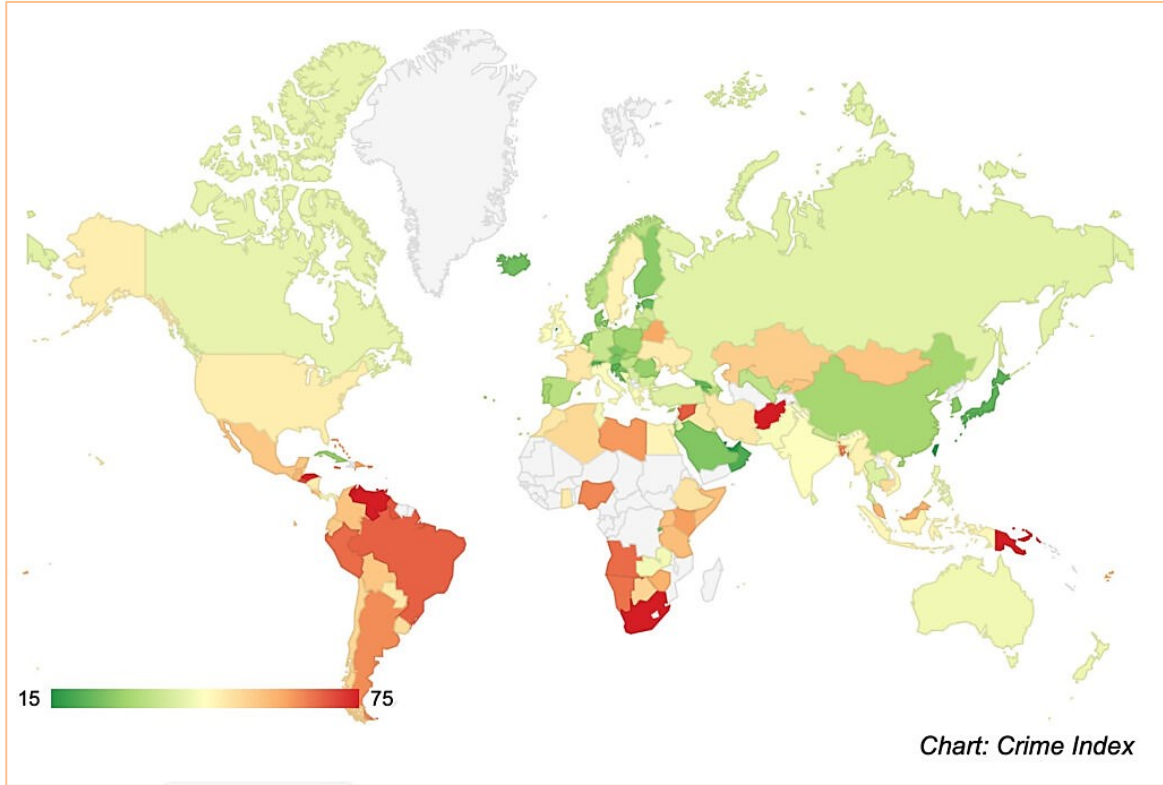
そして、この領収書の生き方をされている方々同士のご縁を結ぶことの大切さを

実感いたします。

日本を美しくする会相談役 鍵山 秀三郎

記事提供 致知出版社

事件ファイル NO183 治安別世界地図



濃い緑が安全な国、赤が危険な国というように読み取ります。  
緑色の国（犯罪指数の少ない国）は、カタール・台湾・UAE・オマーン・マン島・スイス・香港・スロベニア・日本・ジョージアの順となります。  
反対に危険な国（犯罪指数の多い国）は、ベネズエラ・パプアニューギニア・南アフリカ・アフガニスタン・ホンジュラス・トリニダードトバゴ・エルサルバドル・ギニア・シニア・ブラジルと続き、南半球に集中しています。ベネズエラはわずか数か月でインフレ率が200万%（2万円が1円）となり、食料や薬が不足し略奪が後を絶ちません。パプアニューギニアは財政難から警察機構が機能しておらず、脱獄犯が犯罪を繰り返し、旅行者も巻き込まれるケースも多く散見されます。

プロ太の小話集 NO183 「遅刻防止策」

ある会社のオーナーが雇われ社長に尋ねた。  
オーナー 「なぜ、君のところの社員は、誰も遅刻をしないのかね？」  
社長 「社員30人に対して、駐車スペースが29台分しかないからです。」



////////////////////  
今月の表紙の花 : クチナシ「喜びを運ぶ」  
今月の言葉では、人が喜んでくれることが自分の充実感に繋がることを教わりました。  
請求書の人生ではなく、領収書の人生を歩み、ご縁を大切にしていきたいと思ひます。  
注: プロ太とは、写真のK-PURO 番犬です (体長10メートル・体重1トン・無敵無敗)